

平成 27 年度 地域スポーツクラブマネジメントセミナー 第 1 回 実施報告 (8/26 実施)

「地域コミュニティの再生」

講師：炭谷 晃男 氏 (大妻女子大学社会情報学部 教授)

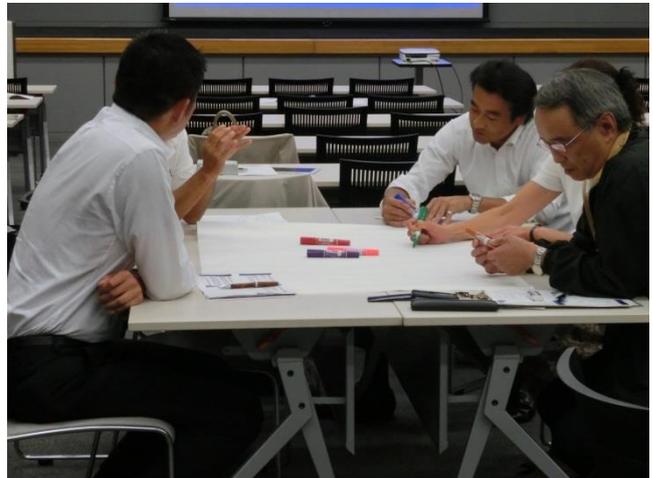
今回のセミナーは、大妻女子大学の炭谷先生にお越しいただき、「地域コミュニティの再生」をテーマに講義していただきました。

セミナーの前半は講義形式で進み、まず、地方における「限界集落」、都市部での「自治体の消滅」など、地域コミュニティが抱える問題についてお話しいただきました。コミュニティが弱くなった原因として「人々の意識面における変化」、「サラリーマン化」、「単身世帯の増加」、「居住環境」といったことがあると説明されました。また、人々のつながりを再構築し、コミュニティの活性化を目指すには、「つながりを持つ上での制約をなくすこと」と「家族、地域、職場のそれぞれが現状に即したつながりを構築すること」が必要であると仰いました。そして、生涯スポーツの視点から「我々の仕事として人と人とをいかにつなげ、まちづくりを展開していくか」という問題を提起し、後半のグループワークへ進みました。



グループワークでは、1 グループ 5~6 人に分かれ、各々の地域での活動や自身のこと、自分たちの地域での取り組みの中で成功したこと、失敗したことについてそれぞれ情報交換を行いました。それぞれのテーブルには模造紙とペンが用意されており、参加者は情報をそれぞれアウトプットしていきました。

始めは緊張した様子の参加者でしたが、会話が進むにつれ緊張もほぐれ、笑い声も聞こえるようになりました。また、グループワークの前に問題提起を行ったことで、内容もより深いものとなり、皆さん真剣な表情で他の参加者のお話を聞いていました。一度グループを変えた後、グループの代表者にワークの中で出た内容を簡単に発表していただきました。最後に、炭谷先生に講義のまとめをしていただき、今回のセミナーは終了となりました。



今回のセミナーのまとめとして、総合型地域スポーツクラブとして「コミュニティの再生」をするために、運動・スポーツを軸としたまちづくりを意識する必要がある事、地域に根差しながらもその地域だけにこだわらないこと、エリア型地域活動(町内会・自治体)とテーマ型地域活動(NPO)は必ずしも結び付ける必要がないことなどを意識することが重要であると説明されました。また、開かれたコミュニティづくりとしてNPOのやり方を学ぶのも一つの方法であると仰いました。